＜参考資料＞

　　文部科学省例示資料

「キャリア・パスポート」を活用した授業例

（中学校）

「キャリア・パスポート」を活用した授業例

1. ○○中学校　特別活動
2. １学年　学級活動（３）「一人一人のキャリア形成と自己実現」

ア 社会生活、職業生活との接続を踏まえた主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用

1. 題材「この１年間の成長を振り返ろう」
2. 事前の指導（活動）

▶小学校６年時の「キャリア・パスポート」を準備する

▶中学校１年での学期ごとの「キャリア・パスポート」を準備する

1. 本時の学習過程

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 児童生徒の活動 | 指導の留意事項 |
| 導入 | ○　中学入学後から今までを振り返る・学習面、生活面、家庭や地域で | ▶学期ごとの「キャリア・パスポート」を活用し、自分の成長を振り返るよう支援を行う。 |
| 展開 | 本時のねらいを確認する○　友だちとの共有し互いの成長を確認し合う。○　６年生時に書いた「理想の中学生」のページを確認する。　・６年生時と今との記述を比較して感じたことを話し合う。・付箋を準備し、自分や友だちの変容について記入し貼る。○　気付いた内容について、クラス全体で共有する。・成長の理由も合わせて考える。○　２年生になる自分への応援メッセージを書く | ▶１年間のがんばりを友だち同士で共有し、互いの成長を教え合えるようにする。▶自己変容に気付けるように個別支援を行う。▶付箋を活用することで、成長を可視化できるように工夫する。▶理由を考えることで、成長が自覚できるようにする。▶短期間の目標と中期間の目標を考えさせることで、具体的に行動することを考えさせる。 |
| 終末 | ○　そのために今、がんばる事を記入し発表する。　 | ▶具体的な取組について、意思決定をし、実践へつなげるようにする。 |

1. 事後の指導（活動）

▶中学校２年・３年のなりたい自分に向け、意思決定したことが実践できるようがんばりカードを記入していく。

▶「キャリア・パスポート」の「保護者からのメッセージ」を活用することで、自己理解をさらに深められるようにする。

「キャリア・パスポート」を活用した授業例 年度終わり

（１）中学校　特別活動

（２）１学年　学級活動（３）「一人一人のキャリア形成と自己実現」

ア 社会生活、職業生活との接続を踏まえた主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用

（３）題材『１年間を振り返り、新入生へ○○中学校紹介（メッセージ）を書こう』

（４）事前の指導（活動）

▶小学校から持ち上がった「キャリア・パスポート」を見返しておく

▶中学校１年生で記入した「キャリア・パスポート」を見返しておく

（５）本時の学習過程

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 生徒の活動 | 指導の留意事項 |
| 導入 | ○　「１年間を振り返り新入生へメッセージを書こう」について確認○　これから行う活動の流れについて指示 |  |
| 展開 | ○　１学期に書いた「○○中学校へ入学して」、中学１年学年始めと、各学期末の「キャリア・パスポート」をもとに、入学したころの自分と一年間の自己の成長を個人で振り返る。○　自己の成長のきっかけとなったできごとや、成長を支えてくれた人やものなどについて、個人で振り返った内容をグループ内で話し合う。○　自分の発表に対するクラスメイトのコメントや、クラスメイトの発表を聞いて感じたことや考えたことをワークシートにまとめる。○　個人での振り返りやワークシートの内容をもとに、新入生へ「○○中学校へようこそ！○○中学校はこんなところ」を作成する。 | ▶時間内でグループを組み直すなど、クラス内のできるだけ多くの生徒の発表を聞く事ができるよう工夫▶他者の意見を否定せず、傾聴の態度を促す。▶自己理解や他者理解、新たな人間関係の構築につなげる。▶入学時の期待と不安な気持ちをもった自分自身に応援メッセージを送るつもりで考えさせる。 |
| 終末 | ○　入学から学年末まで、授業やさまざまな行事を通して、どのような力が身に付いたのかイメージする。 ○　「中学生のみなさんへ」や「○○中学校のみなさんへ」を読み、２年生に進級するにあたりさらに伸ばしたい力を意思決定すると共に、引き続き「キャリア・パスポート」を作成することの意義を再認識する。 |  |

（６）事後の指導（活動）

▶学年末の「キャリア・パスポート」を作成する。

（７）実施時期

　　　２～３月中の実施を想定している。